清く広く高らかに

第１８号　　令和６年２月９日（金）

柏原市立堅下南中学校　校長室だより

大阪私学入試へ、いざ、勝負!!

３年生のフロア正面には、「受験まで」と大きく書かれたものが目に飛び込んできます。そして、今日その文字は「０１」の文字が現れていました。３年生を応援しようとする３年生の先生方の想いに、校長先生も想いを寄せたくなります。また、「3 年生、ガンバレ！」という気持ちにもなります。３学期に入ると、３年生の何人かの生徒たちが毎朝、７時 30 分頃に登校し、校長室の中を覗いて「おはようございます！」と元気よく挨拶してくれます。どうやら、自主的に早朝勉強会を行っているようです。素晴らしい行動です。

さて、いよいよ明日２月 10 日は大阪私学入試。数万人の中３生が受験に向かいます。周りの受験生を見て、不安になったりせず、当日の朝は、少し早めに起床し、心を落ち着かせ、「前向き思考」で試験会場に向かって欲しいと思います。

余談ですが、甲子園での高校野球をテレビ中継で見ていると、チャンスに打席に立った選手が、ユニフォームの胸のあたりを強く握る姿を見ることがあります。そこには、大抵の場合、お守りなどがあり、一見すると神様に祈っているようにも見えます。しかし、実はそうではなく、自分がこれまで練習してきた成果が発揮できるように、願っているのだそうです。つまりは、「困った時の神頼み」ではなく、「自力本願」。自分を信じ、努力を信じることを自らに言い聞かせているのだそうです。自分を信じて、自分を励まし、頑張ってきてください！そして、13 日（火）にまた元気に登校してきてください。皆が１００％の力が発揮できることを祈っています。

全国人権作文コンテストへの優良校として、感謝状を授与されました。

大阪法務局東大阪支局長様及び法務省人権擁護委員の方が、来校され、これまで人権作文に、永年多くの作品を出展し取り組んだ学校として、校長室に於いて感謝状を贈呈されました。大変光栄な賞を頂きましたことを、皆さんにご報告させて頂きます。

感謝状

柏原市立堅下南中学校　殿

貴校は法務省及び全国人権擁護委員連合会主催の第四十二回全国中学生人権作文コンテストの実施に多大な協力をされ中学生の人権意識の高揚のために尽力されました

ここに深く感謝の意を表します

令和六年一月二十日

大阪法務局長　鎌田隆志

大阪法務局東大阪支局長　内田博文

先日、中河内（柏原市・八尾市・東大阪市）の人権教育学習会が行われたので、参加してきました。印象に残ったこととして、「今の子どもたちはトラブルになるから、関わらないようにしよう」という行動が目立ちます。その対応は、決して間違っていることではありません。しかし、これからの社会を人と交わりながら生きていくには、避けてばかりでは、解決できないことがあります。今、私たちは「とことん話し合う」ことも必要です。話し合うことでしか分かりえないこともありますし、気付けることもあります。そんなお話でした。

ホップ ステップ 南中ライフ

１月 31 日（水）に堅下南小学校６年生を招いて、中学校生活へ大きくジャンプできるように、中学校生活の一端を体験しました。生徒会本部役員より中学校の生活全般に関するお話と、２つの部活動体験を行いました。

生徒会より､6 年生へ工夫を凝らした説明

普段仕様と、テスト前仕様（教材持ち帰り）のカバンの重さを比較して体験している様子。

ソフトテニス部の２年生が丁寧に指導

文化活動部体験の楽しそうな様子

吹奏楽部では、早速セッション♪

卓球部では、１年生が指導。早くも先輩

バドミントン部には､多くの希望者

体験終了後、６年生にインタビューしました。　Q「何が楽しかったですか？」

「バドミントン、楽しかったです。早く部活がしたいです！」

「バスケ部で、先輩から教えてもらえて楽しかった。絶対入りたいです！」

「吹奏楽で、みんなで演奏したことが楽しかったです！」

など、とても嬉しそうに話してくれました。２か月後には入学してきます。先輩としてさらに成長した姿を見せられるよう、がんばってください。そして、優しくしてくれた皆さん、ありがとう。